

令和4年度学校経営・運営ビジョン「あたごっ子プラン」

目指す学校像

- 子どもたち一人一人にとって、今日を楽しみ、明日が待ち遠しく思える学校
- 保護者にとって、子どもを安心して通わせ、通わせてよかったと思える学校
- 地域の方々にとって、地域の学校として誇りに思える学校
- 教職員一人一人にとって、本校に勤務したことが生涯のよき思い出となる学校

教育目標

- ◎ 進んで学ぶ子ども（重点目標）
 - 思いやりがある子ども
 - たくましい子ども

～心で満点を目指して～

目指す教職員像

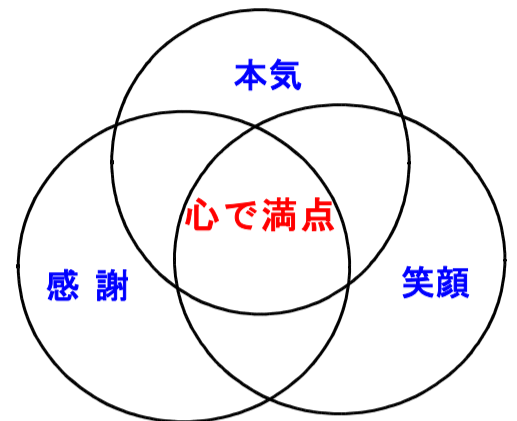
- 子どもたちと共に、より高いところを目指し、生き生きと成長する教職員
- 常に危機意識をもって行動できる教職員
- 保護者や地域との信頼関係を築き、開かれた学校づくりに積極的に努める教職員

<経営方針の柱＝指導の指針>

『心で満点』を目指す。＝本気・感謝・笑顔

「本気」＝学習、遊び、掃除、読書など、すべてにおいて本気で取り組む。
 「感謝」＝自分を支えてくれる教師、家族、友達、地域、学校、持ち物、時間など周りのすべてに感謝する。
 「笑顔」＝笑顔は、良好な人間関係作りの第一歩、心の安定、素直な行動に通じることを意識する。

褒め、認め、励ますことを基本に据え、諭してしつけ、褒めて育てる。



<授業充実＝生徒指導の充実＝学力向上>

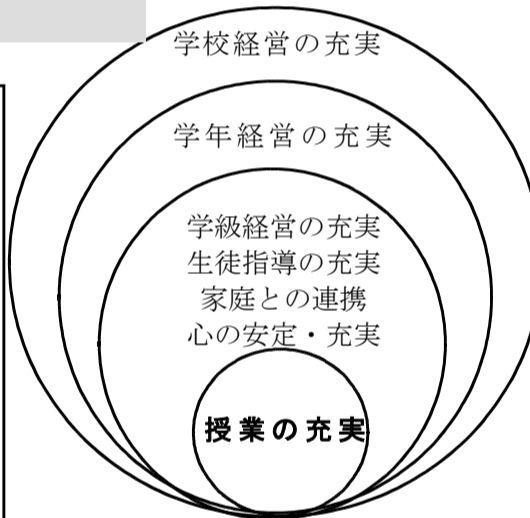
☆全児童が、学力テストにおいて前年度比+1ポイント以上を目指す。

☆教師は、常に指導と評価を一体的に捉え、常にわかる、できる、わくわくする授業を展開する。（「授業スタンダード」と「家庭学習スタンダード」の有効活用）

☆特別支援教育の充実
 ・特別支援学級、通級指導教室、通常学級との連携強化
 ・特別支援教育の視点を取り入れた授業の展開

◎生徒指導の機能を生かした授業
 （自己存在感、自己決定の場、豊かな人間関係の醸成）

『褒める』→「やる気が出る」→「頑張る・取り組む」
 ↓
 「更にやる気が出る」←『褒める』←「わかる・できる」
 ↓
 「更に頑張る・取り組む」→「更にわかる・できる」
 ↓
 「学ぶことが楽しくなる」←『褒める』
※学びの好循環スパイラル（+評価）



◎子どもの安全安心を第一に考える
 ・危機対応の鉄則＝さしすせそ

◎校舎内を学ぶ雰囲気
 ・始業時刻の厳守
 ・学ぶ環境づくり
 ・掲示物等の工夫

◎保護者に協力を得る工夫
 ・日頃の連絡（連絡帳、電話、家庭訪問）、保護者とのコミュニケーションを重視
 ・個別懇談、家庭訪問の充実
 ・HPや学年だより等を通し、積極的な情報の発信及び受信

◎授業の充実と生徒指導及び学力向上を一体的に捉える。
 ◎学習の基盤となる基礎学力の確実な定着→授業の充実→現職教育の充実
 ◎家庭との連携協力（巻き込む）→保護者の安心＝子どもの心の安定

豊かな心の育成

- 縦割り班活動や登校班などを通し、互いに思いやり、協力する尊さを学ばせます。
- 読書タイム及び図書室の充実に努めます。
- 特別な教科「道徳」を一層を充実させます。
- 体験活動を重視した道徳教育を推進します。

確かな学力の定着

- 一人一人に「わかる・できる授業」を展開し、学ぶ楽しさを実感させます。
- 国語タイム・算数タイムを活かし、基礎・基本の定着を図ります。
- 家庭の協力を得て、学習習慣を身につけさせます。（「家庭学習スタンダード」の活用）
- PTAとの協力のもと、週に一度のノーゲーム・ノーメディアデーを推進します。

たくましい心身の育成

- 家庭と協力し、病気等による欠席ゼロを目指します。
- 学力向上や体力向上の取組を通し、「継続は力なり」を体感させます。
- 安全教育関連の教育活動を充実し、危険予知能力と危険回避能力を向上させます。
- 給食や「ふれあい弁当デー」等を通して、食育の充実と生活習慣の改善を支援します。

家庭・地域とともに

- 外部評価（第三者評価）を生かし、教育活動の改善・充実に努めます。
- 外部講師の積極的な招聘による学社連携を推進します。
- 朝の登校指導と下校時の引率を推進し、地域との連携で子ども達を守ります。
- 幼稚園及び中学校との連携を密にし、円滑な接続を図ります。
- 「あたごっ子教育ポイント5ヶ条」を推進すると共に「家庭学習スタンダード」を活用し、家庭教育の充実を支援します。